

当日資料

地域福祉コーディネーター 活動事例集 (平成25年～平成30年)



社会福祉法人高知市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター活動事例

- 事例 1 住民にとって身近な地域における住民座談会の取り組み
(高知市 潮江地区 竹島町内会)
- 事例 2 個別支援から地域支援への展開
～認知症をキッカケに地域のつながりづくりの実践～
(高知市 三里地区 種崎)
- 事例 3 地域支え合い会議を軸とした地域ぐるみの取り組みの実践
(高知市 小高坂地区)
- 事例 4 地域共生社会の実現を目指した住民の交流会の取り組み
(高知市 春野地区)
- 事例 5 地域ぐるみの子どもの見守り活動
(高知市 小高坂小学校区)
- 事例 6 「受け手」が「支え手」に・・・
“気くばりさんボランティア”の取り組み
(高知市 一宮地区)

支援結果

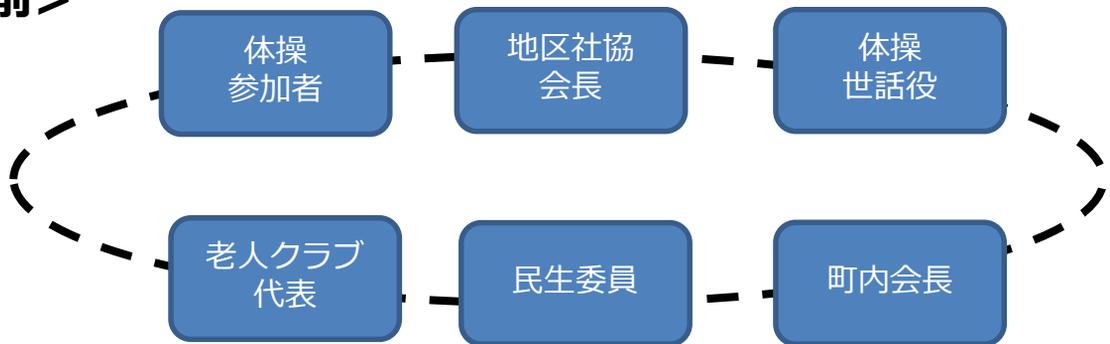
【地域の動き】

- 話し合いの継続と具体的な活動の実施により、地域活動を積極的にしていこうという機運ができた。
- 顔の見える範囲である小地域単位で取りむことによって、住民がまとまりやすく、かつ、活動に対する主体的な姿勢が生まれていた。



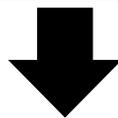
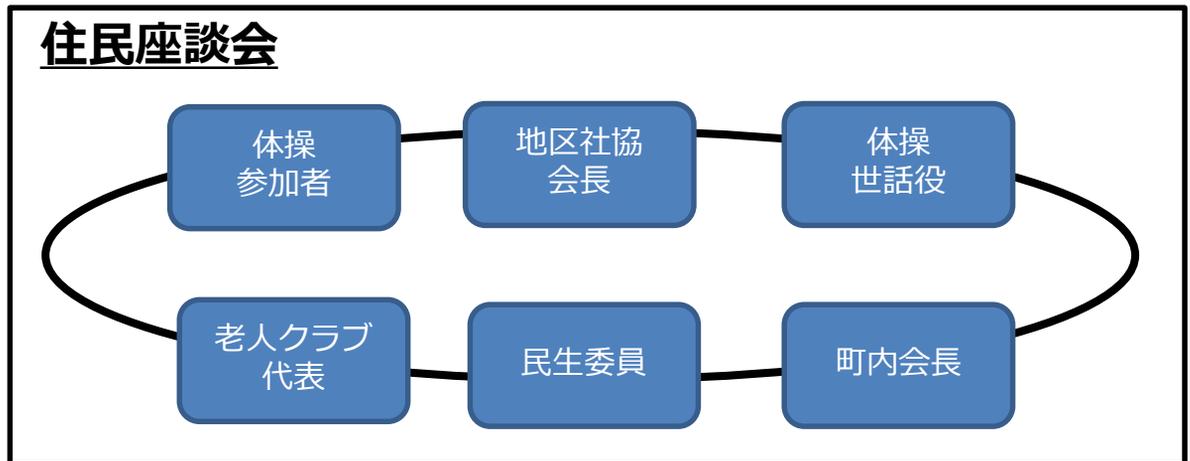
エコマップ（支援の関係図）

<支援前>



<支援後>

住民座談会



住民主体の小地域福祉活動の展開

事例 2

個別支援から地域支援への展開

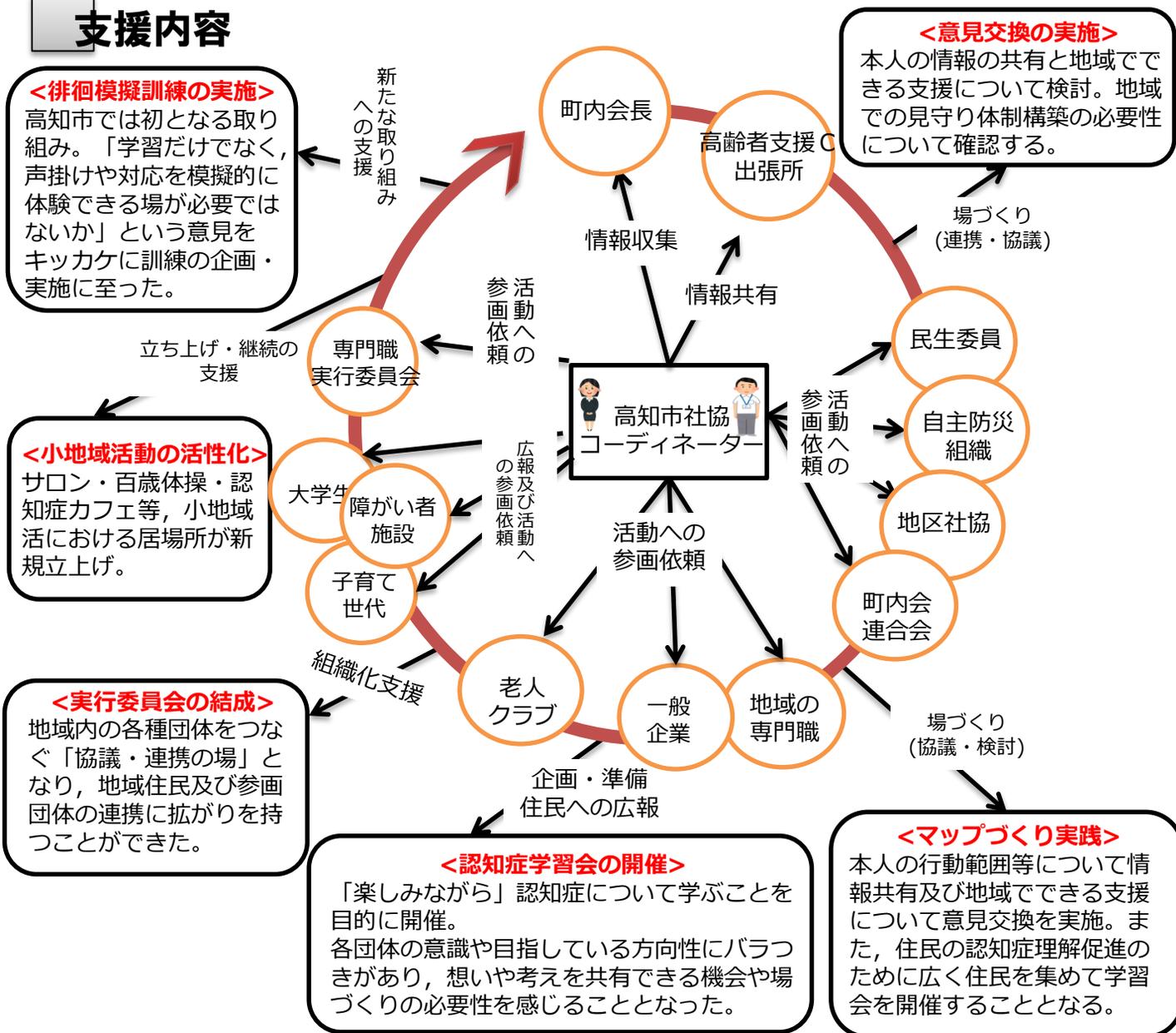
～認知症をキッカケに地域のつながりづくりの実践～

三里地区 種崎

事例概要

事例内容	地域を徘徊する認知症高齢者に対する支援過程を通して、「個を支えられる地域づくり」の展開へと支援した。
地域データ	人口：1,915人 高齢化率：40.3% 世帯数：988世帯
支援期間	平成26年7月～ 支援継続中(H30年2月現在)

支援内容



支援結果

【地域の動き】

●世代間交流の実現

取り組み3年目からは、子育て世代も活動に参加。学習の場が世代間交流の場としても機能している。

●住民主体の活動が開始

学習会の開催によって、住民主体の活動がいくつか開始された。

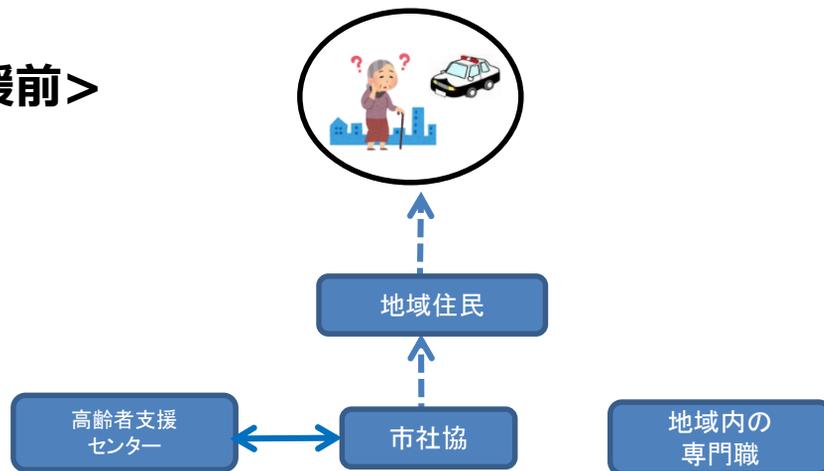
<主な活動>

サロン3か所，認知症カフェ1か所
徘徊模擬訓練(高知市初) など

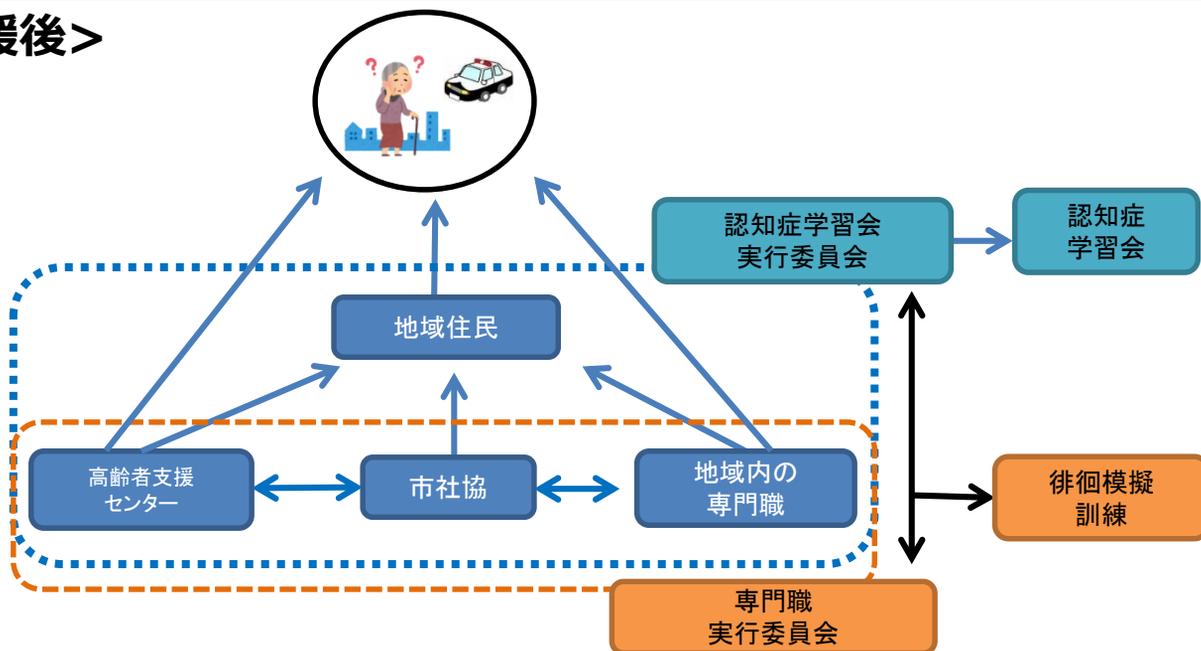


エコマップ (支援の関係図)

<支援前>



<支援後>



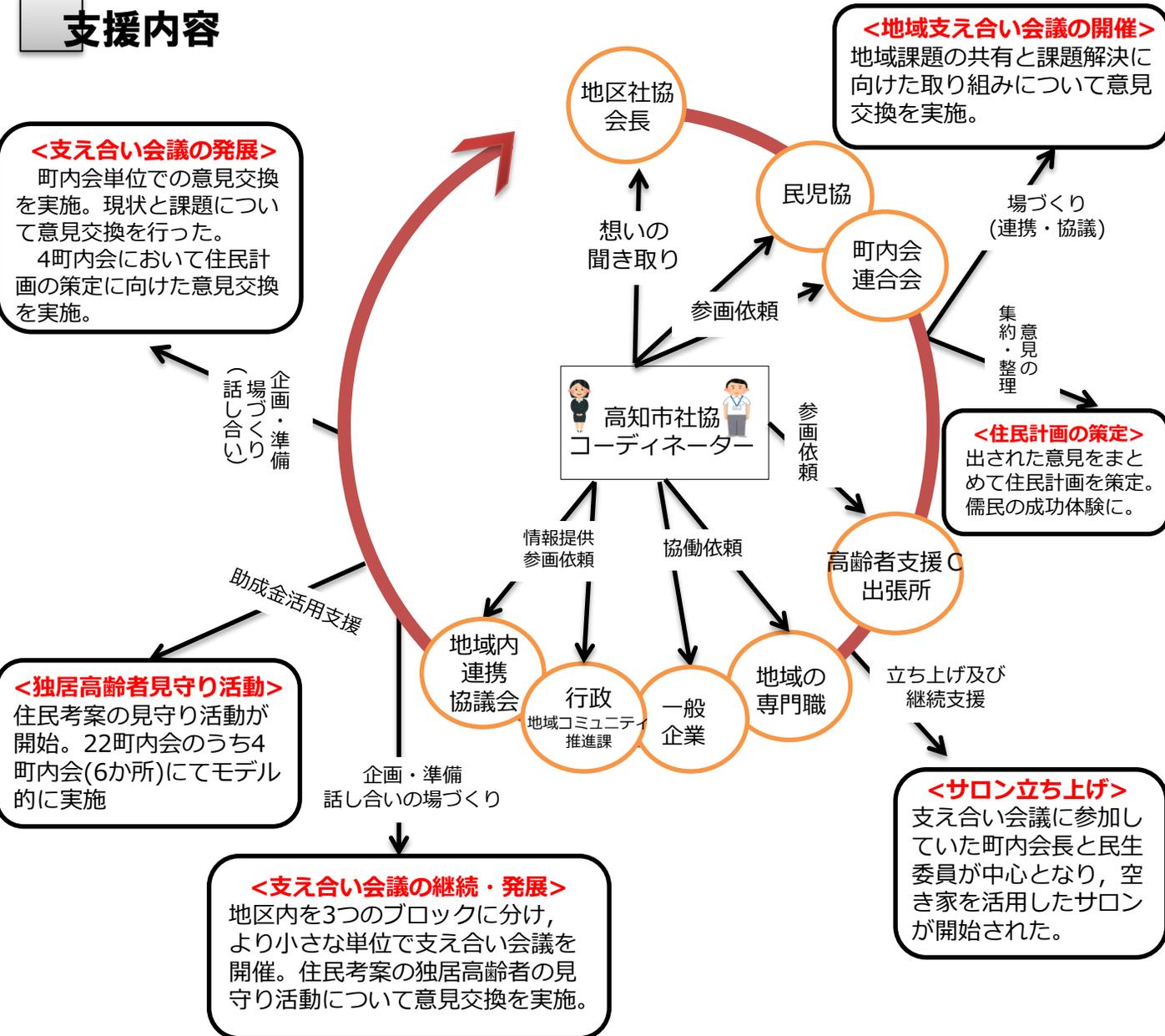
事例3 地域支え合い会議を軸とした 地域ぐるみの取り組みの実践

小高坂地区

事例概要

事例内容	「地域のために何かしたい。」という地区社協会長の思いから住民同士の話し合いを主とする地域支え合い会議の開催を支援した。
地域データ	人口：9,339人 高齢化率：30.0% 世帯数：4,585世帯
支援期間	平成25年8月～ 支援継続中(H30年2月現在)

支援内容



支援結果

【地域の動き】

- 話し合いの継続と具体的な活動の展開を通して、積極的な姿勢が生まれている。
- 地域内の各団体及び専門機関をつなぐ「協議・連携の場が出来た。」

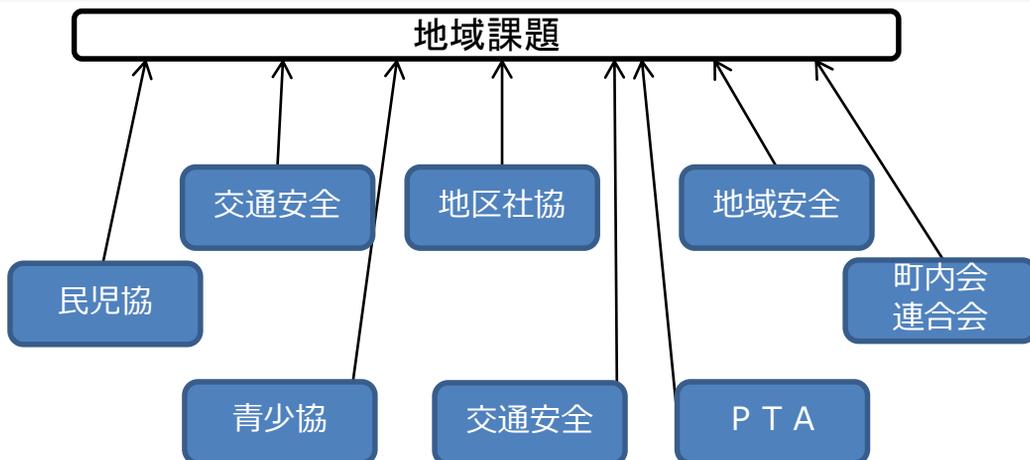
(新たに開始となった主な取り組み例)

- ・ サロン活動
- ・ 独居高齢者の見守り活動
- ・ 子どもの登下校時の見守り活動

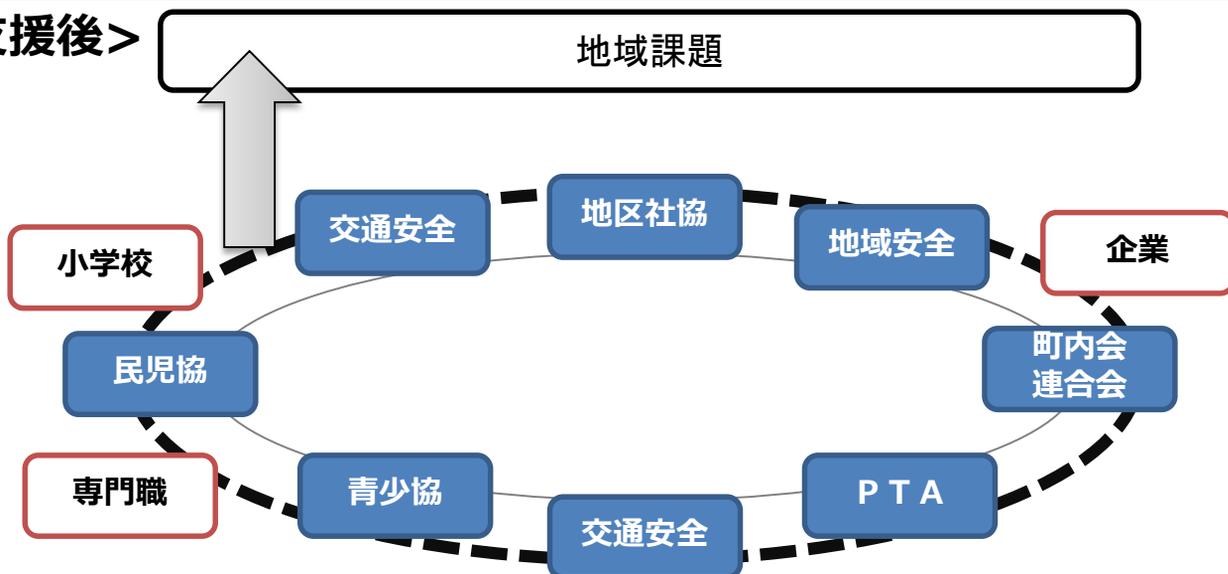


エコマップ (支援の関係図)

<支援前>



<支援後>



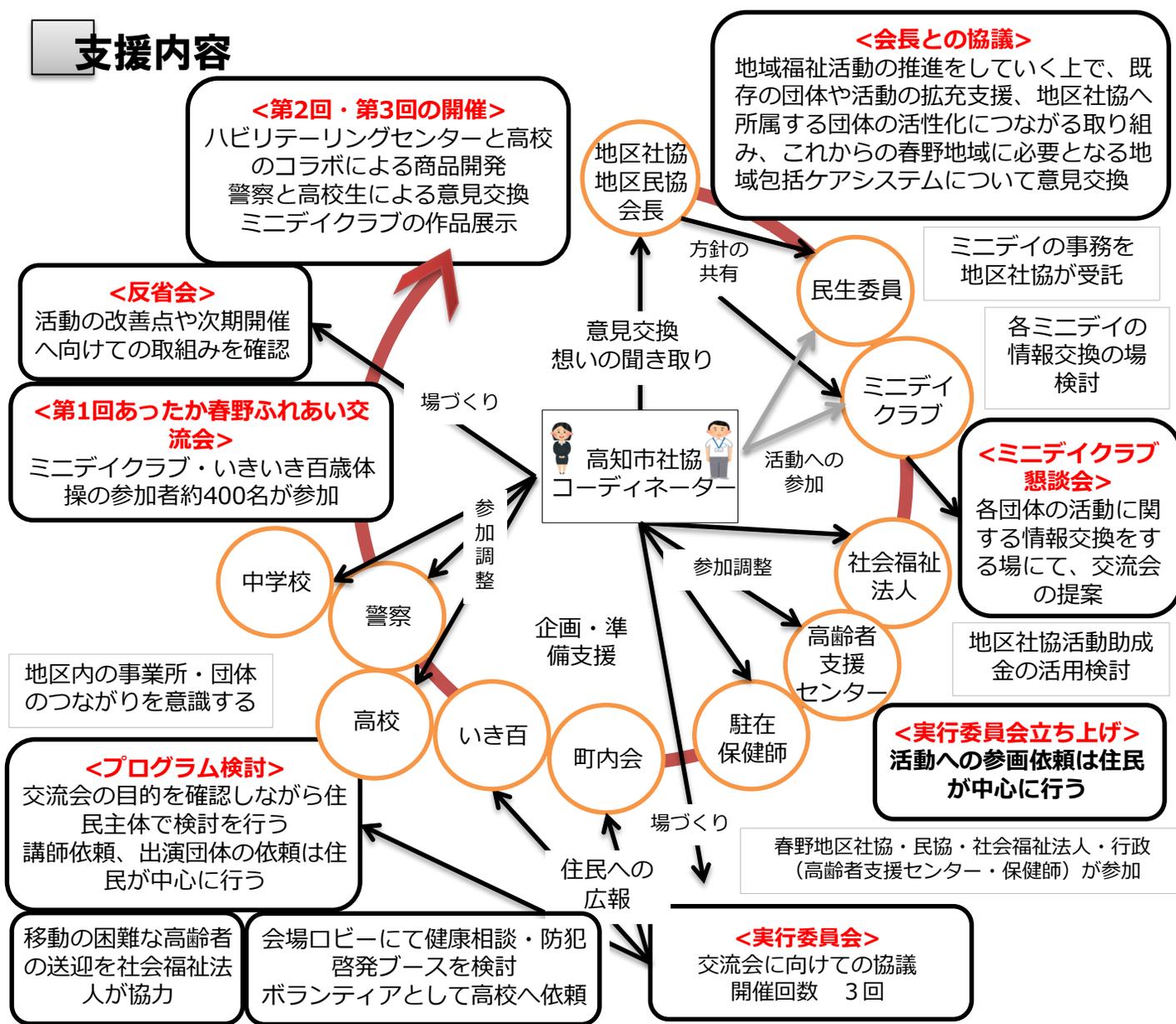
事例 4 地域共生社会の実現を目指した 住民の交流会の取り組み

春野地区

事例概要

事例内容	「めざせ!!百歳 健康長寿」をテーマに、住み慣れた春野で健やかな生活を送るため、地域住民の拠点となっている地域交流デイサービス（通称ミニデイ）やいきいき百歳体操の参加者同士の交流と、世代間交流等を通じて、誰もが安心して暮らせる支え合いのある町づくりを目指して開催している交流会の支援
地域データ	人口：15,046人 高齢化率：34.7% 世帯数：6,472世帯
支援期間	平成27年～ 支援継続中(H30年2月現在)

支援内容



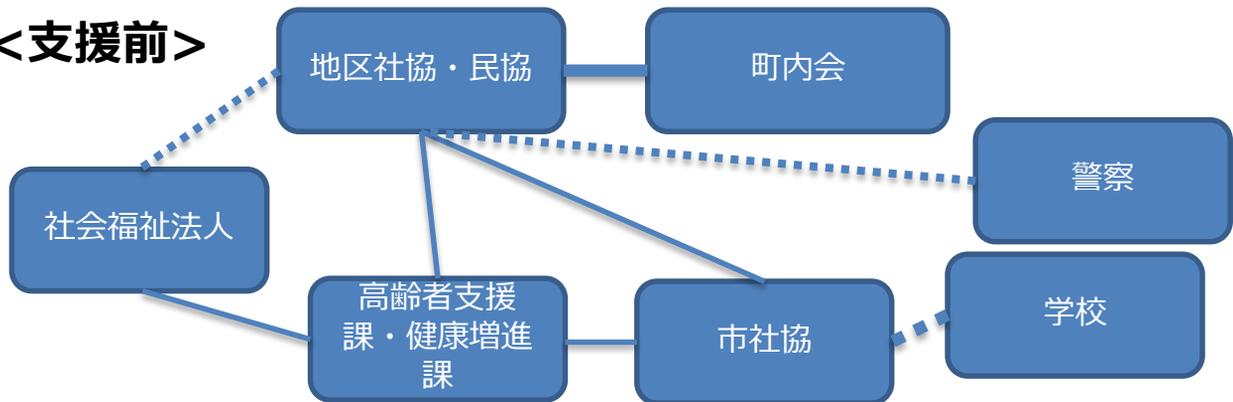
支援結果

【地域の動き】

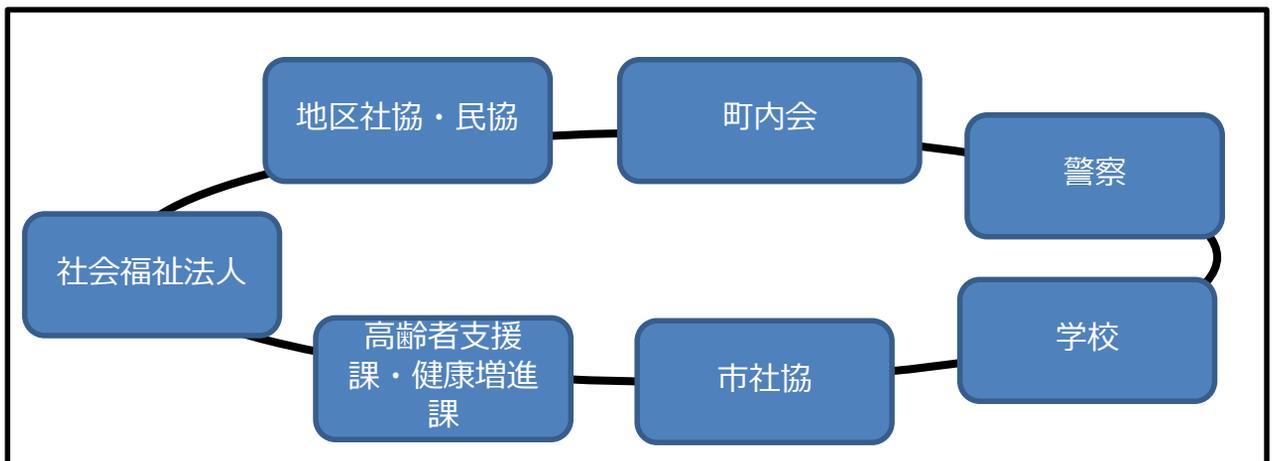
- 社会福祉法人等の関係機関と地域住民の顔の見える関係ができた
- 既存の地域のつながりを活かした交流会を実施することで、疎遠になっていた関係も再構築する機会となった
- 実行委員会を立ち上げ交流会という一つのイベントを目指す課程の中で、各団体の意見交換や情報共有が円滑に進み、新たな協働の場面を創出
- 高齢者同士の交流に留まらず、児童、障がい者など誰もが集うことができる機会を創出する場づくりを住民主体で行うことができた

エコマップ（支援の関係図）

<支援前>



<支援後>



住民主体で地域が丸ごとつながる機会の創出と新たなコラボレーション（協働）による地域福祉活動の推進につながっている

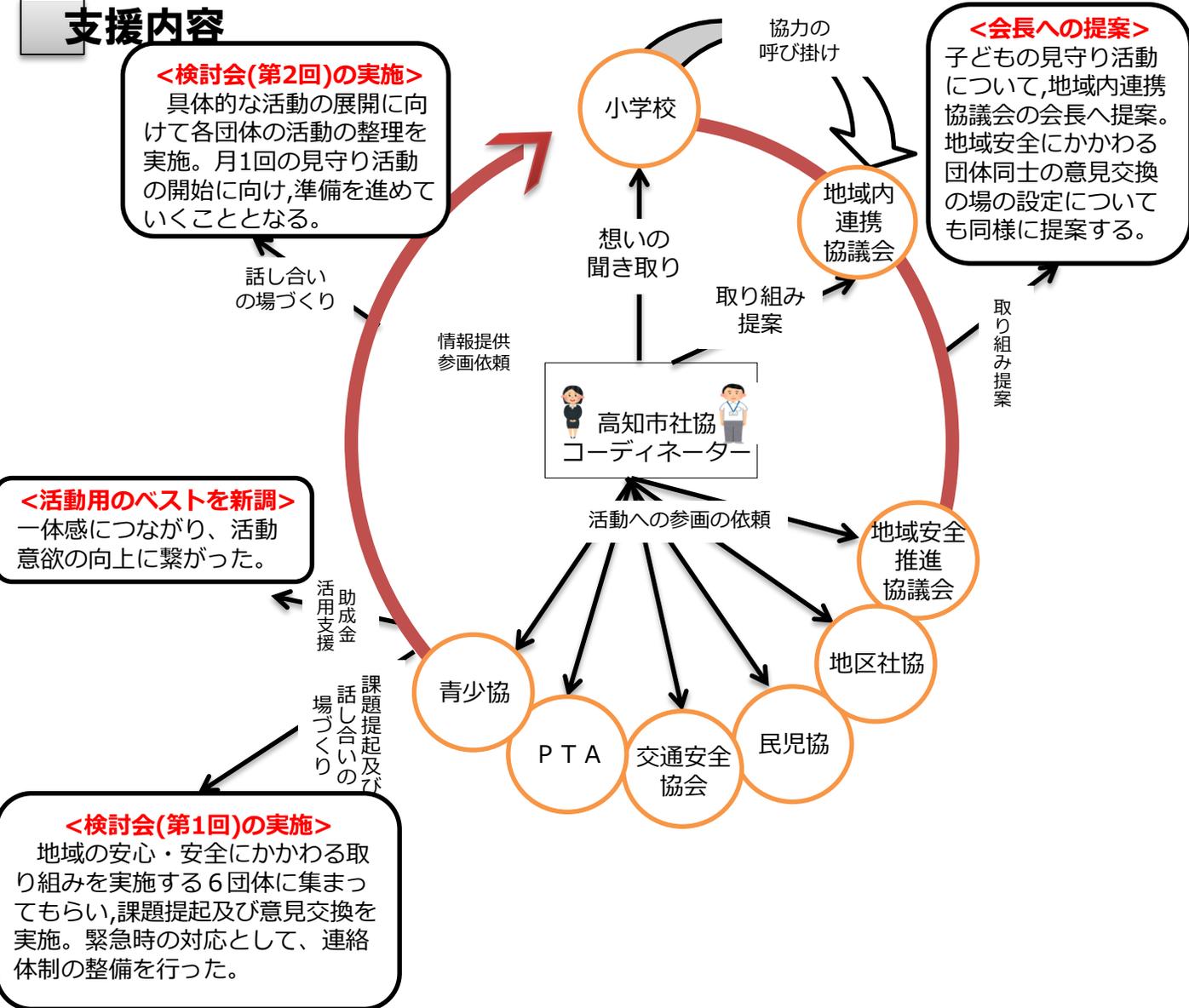
事例5 地域ぐるみの子どもの見守り活動

小高坂小学校区

事例概要

事例内容	不審者の出没情報が相次いだことから、小学校の校長が地域の団体へ見守りの協力を依頼。活動開始に向け、地域安全にかかわる各団体への協力依頼及び話し合いの場づくりを行った。
地域データ	人口：9,339人 高齢化率：30.0% 世帯数：4,585世帯
支援期間	平成28年8月～平成29年6月（相談に応じて適宜支援を実施中）

支援内容



支援結果

【地域の動き】

- ・活動を通して自然と生まれる心の交流によって顔の見える関係の構築につながるのと同時に、地域の高齢者の役割にもなっている。
- ・活動を通して、地域で子どもを育てる土壌づくりにつながっている。



エコマップ（支援の関係図）

<支援前>

不審者の出没



小学校

PTA

<支援後>

不審者の出没



各種団体が連携することで、組織的な見守りを実施

小学校

地域安全
推進協議会

PTA

交通安全
協会

民児協

地域住民

地区社協



※新聞にも報道され、活動意欲も向上

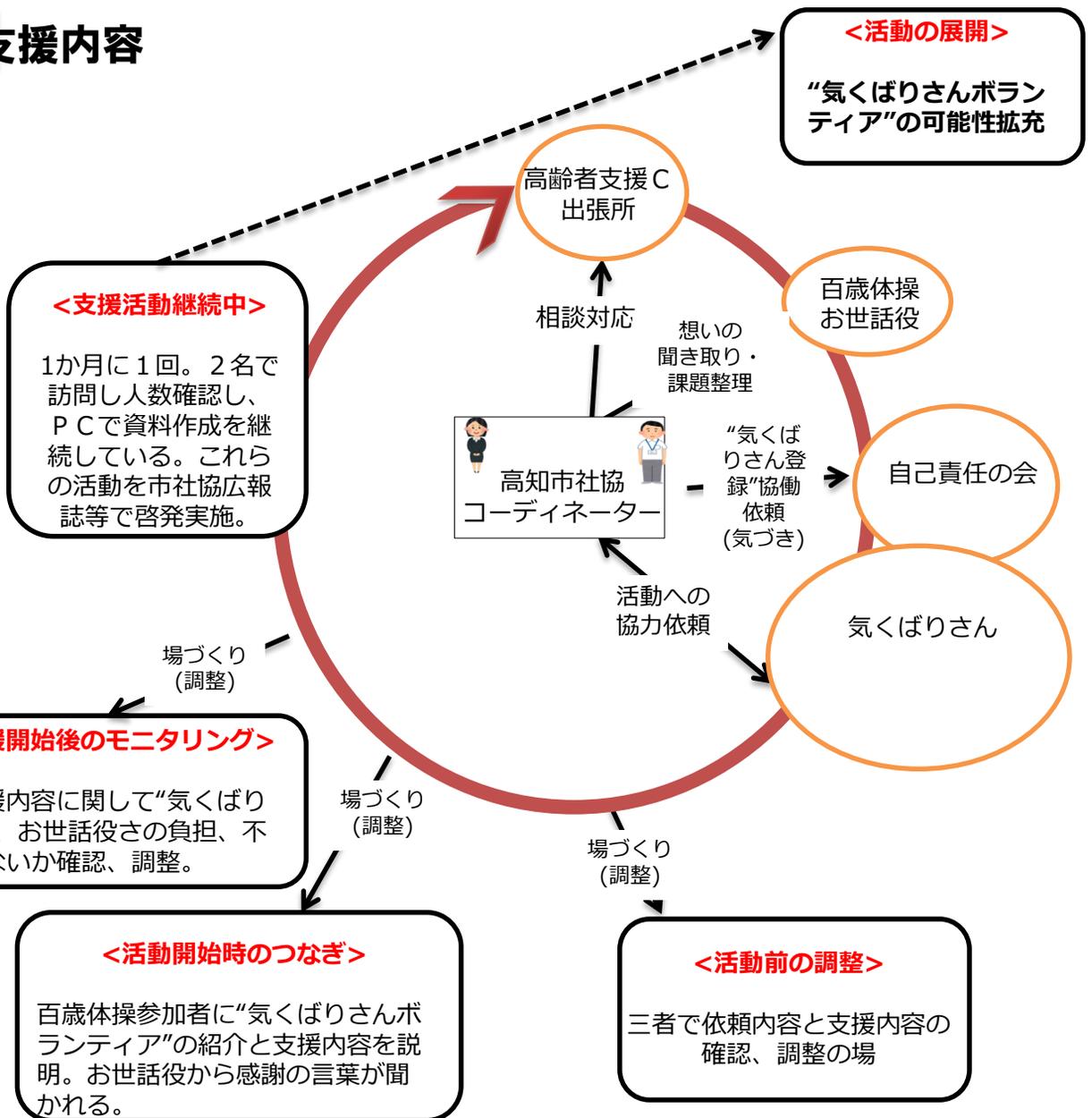
事例6 「受け手」が「支え手」になった事例 “気くばりさんボランティア”の取り組み

一宮地区

事例概要

事例内容	要介護高齢者が地域の百歳体操の高齢のお世話役が苦手な人数把握等名簿管理を特技のパソコンの支援につなげた。
支援期間	平成29年1月～平成29年5月（相談に応じて適宜支援を実施中）

支援内容



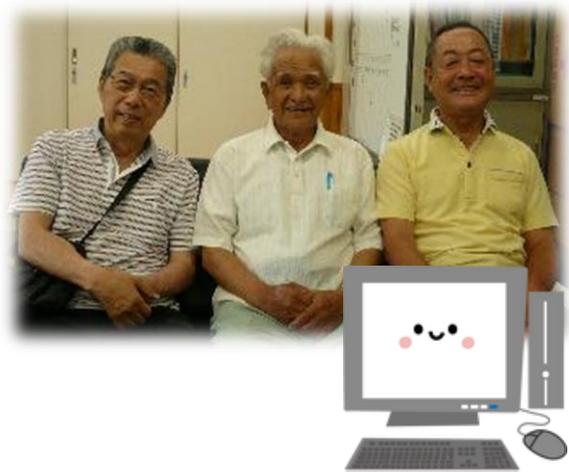
支援結果

【地域の動き】

●高齢者支援センター出張所から相談を受けて活動支援につなげることができたことで、要介護者が支援者になることを専門職で改めて理解、実感できたと思われる。

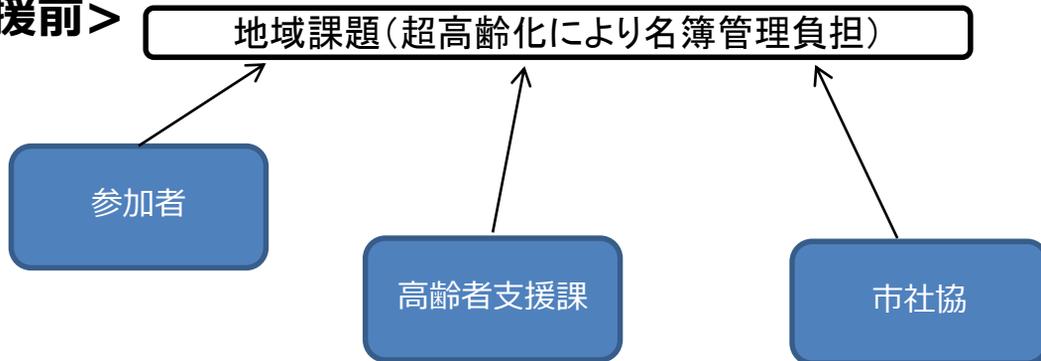
●要介護者の気くばりさんボランティアは、今回の活動をとおして、モチベーションが向上し、更なるボランティア活動へも取組む予定になったと聞いている。

●要介護者、要支援者が地域で出番、役割を持てる事例ができたことで、ボランティア活動の受け手、支え手の可能性が向上した。



エコマップ（支援の関係図）

<支援前>



<支援後>

